

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還） 31

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43813

面接採用制適用準備の進め方

条約局長 20
参事官 20
条約課長
法規課長
アメリカ局長
参事官
安全保障課長
北米才一課長
少佐 中野 官
1. 5

秘
無期限

三冲繩に於ける間接雇用制
適用準備の進め方(案)

45.5.5 米比(後添)

三冲繩に於ける間接雇用制適用準備(施政
行政互置并にF-4に中間的措置の取
り)

に、三冲繩に於ける事務知識の向上に
ついても、F-4に中間的措置の取
り。

1. 目標
三冲繩の基地後継業者の雇用形態を

施政行政互置の目標の自主にMLC方式
の間接雇用制に可なりである目標に準備を

進めようとする。その準備の一環として、
施政行政互置并にF-4に、現在の雇用形

態と将来のMLC方式に結びつける方向に
進めようとする。MLC方式に結びつける方向に

本件要旨は五月九日付総務課長以下に伝達済み、先方概ね

改善に付けるための措置(いわゆる「中間的
措置」)を検討する。

2. 準備作業の進め方。
1) 防犯施設計画の共同作業。

防犯施設計画の事務計画の検討会
(当方の米保松田事務官と在米、米比一
米保条の条規各課の担当者)に付

作業計画を構成する)に用い、事務
的作業を共同で行う。即ち、
作業を進めよう。

1) 施政行政互置の時期から三冲繩にML
(方式)の間接雇用制を適用するに

施政行政互置并にF-4に、現在の雇用形
態と将来の準備作業に結び、各課の

作業に要する時間と労力を具体的に

3.

施政様互置の現状を整理し、何時に
如何に作業を行つたか必要がある
を明らかにし、準備計画案を作成する
(12) 上記(1)の作業と併行して、以下、
事務管理の分野を中心に、施政様互置
の冲縄に於いて、琉球政府(及至、総
務省(実施主体)と互に実施される
ことに、施政様互置の進行を率進
用形態の改善と行政の目的に資
するに於いて、措置(いわゆる「中間的
措置」)に於いての試案を作成する。右試
案を作成するに於いて、その実施の目的、要
件等は、布令116号の改定、冲縄の
民主法の規定との関係等、併し検討
(関係)

4.

事。)
(1) 上記(1)及び(2)の作業と併行して、
以下、主要な資料を要求するに於いて、
施設庁常務部の担当者に冲縄現地に
派遣し、必要の調査を行つた。
(2) 上記作業と並行して、以下、主要
(18頁)
に於いて、総務省との直接意見交換を
上記作業の原則として、外務省、
施設庁(共同作業)と終
了して、S O F A Task Group による
共同作業と終
了して、併し、いわゆる「中間的措置」に
ついて、

施設庁常務部との協議、必要があること。

4月24日 ストパ一公使は「常務内閣は政治問題」
「これは経済的問題」... SOFAの作業部会に今般会
を招き、Anu 処理の X un の 強く速い... の 詳細の
あり。 5.

山中長官の意向の同僚的、防犯施設等
の同僚的。一応の案を作成して、総理府

と協議して、先般、米側と協議。二の
案の二の米側との協議は、在米日本領事館
（東京）

別の体制の同僚的、SOFA、Task group
外の協議、及び可能性あり。

(3) 今後のこと

(1) 防犯施設等の共同作業...
（約200人）

5月中旬には開始。米側の本件問題...
の検討は6月中旬に終了。二の事
（予定）

に先般、先般6月中旬完了目標あり。

(2) 先般の、米側との協議...
に先般、

本件の、来年度におよびの行政の措置
に、必要ありとのあり。先般

Vの途の平等措置のため準備必要あり
期間を考慮し、先般、本年秋（9月頃）
8月下旬頃

終了ありとの目標あり。